



ご挨拶

AI技術の驚異的な発展により、今やスマホ一つで世界中と会話ができる時代が到来しつつあります。しかし、言葉の壁が低くなるからこそ、その奥にある「心」を通わせる力がより一層求められていると感じます。

たとえ表現が拙くとも、自らの言葉で語ろうとする姿勢こそが、相手の心を動かすのだと思います。本学部においても、学生が最新技術を活用しつつも、それ以上に、直接向き合って語り合う、文化や言葉の異なる人間同士の信頼関係を築くような機会を多く設定していきたいと思います。引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2025年 12月

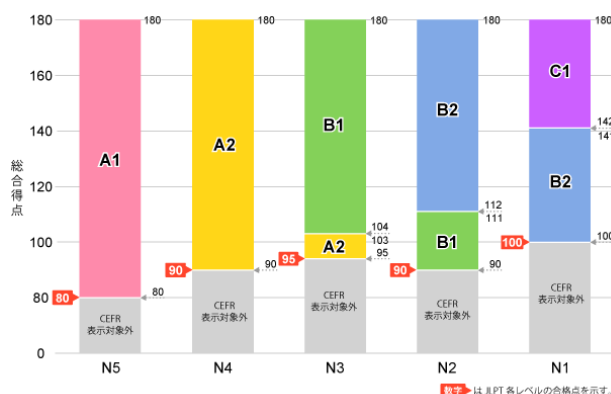
信州大学繊維学部 国際交流推進室長

小林 俊一

外国人留学生への支援

留学生支援の会では、留学生の日本語の向上を目的とし、日本語能力試験(JLPT)N1及びN2の合格者に限り、受験料の全額補助をしております。

これまでに、N1合格者6名、N2合格者2名の補助をし、留学生への日本語に対する学習意欲を持たせることができました。



日中韓シンポジウム

9月15日から20日の日程で、韓国の浦項工科大学・慶尚大学において「ファイバー工学分野の技術者・研究者育成」を目的とした日中韓学生研修プログラムが開催されました。本学からは、教員・学生合わせて30名が参加し、期間中は、参加学生による研究発表と討論会を中心として、活発な学術交流が行われました。特に、初めての海外渡航や英語でのポスター発表に臨んだ学生にとっては、大きな成長の機会となりました。



ウィーン天然資源大学との交流会

大学間交流協定を締結しているオーストリアのウィーン天然資源大学(BOKU)から24名(うち学生21名)が9月22日から23日にかけて、上田キャンパスを訪れました。



メインイベントとして、BOKU学生と信大生による研究紹介および各国の文化紹介が行われました。活発な質疑応答が交わされ、お互いの研究活動に対する理解を深めるとともに、異文化への関心を高めました。その他、キャンパスツアー、懇親会、松本城散策等の催しを通じて親睦が深まりました。

海外研修を終えて

2025 年度オクラホマ州立大学ミニインターンシップ + 英語研修に参加しました、先進繊維・感性工学科 2 年の小川原有希です。私はこの留学を通して感じたのは、ものは試したということです。例えば、緊張を克服して、現地の学生に自分から自己紹介をして会話をしてみたら、共通の趣味や話題で距離が縮まることができました。留学での様々な挑戦により、新しいことに対し躊躇や怖さが薄くなったことは自分自身の成長の一つです。また、現地の方との会話で英語だと自分の感情や意見を簡略にしか話せなかったことが、とてももどかしかったです。そのため、今後はより色々な人とコミュニケーションが取れるよう、英語を学び続けたいです。



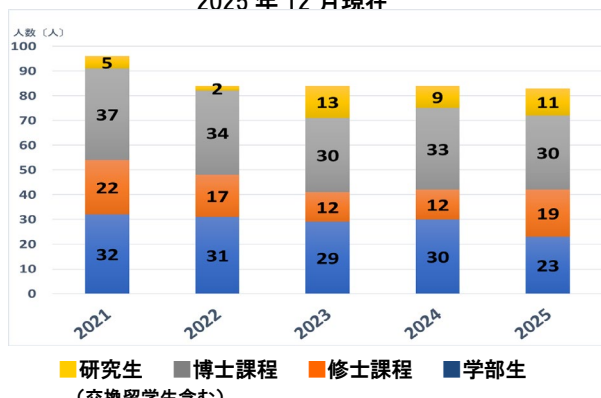
2025 年度夏季オクラホマ州立大学ミニインターンシップ+英語研修に参加いたしました、応用生物科学科 1 年の稲見真奈です。アメリカで過ごした 1 ヶ月間は、学びと発見に満ちた非常に充実した時間でした。机上では学べない生きた英語や文化の違いに戸惑う場面もありましたが、仲間と助け合いながら乗り越えることで、多くの学びを得ることができました。生まれて初めて観戦したアイスホッケーやフットボールの試合の熱気は、一生忘れられない思い出です。また、かけがえのない友人との出会いにも恵まれました。これらの経験は、内向的な性格だった自分自身を見直すきっかけとなり、勇気を出して話しかけることの大切さを教えてくれました。現地でたくさんの人々に支えていただいた経験を生かし、帰国後は自分が留学生を支えられる存在になりたいと考え、現在は信州大学にきた留学生たちと積極的に交流を続けています。

繊維学部 外国人留学生の動向

2025 年度 10 月期信州大学大学院入学式が講堂にて執り行われました。博士課程 7 名、修士課程 1 名の留学生を送り出し、新たに修士課程 3 名を迎えました。

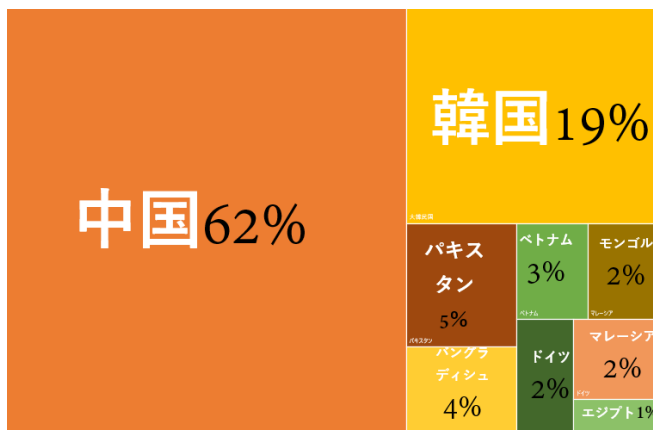
外国人留学生受入れ推移 2021～2025

2025 年 12 月現在



外国人留学生出身国(地域) 割合

2025 年 12 月現在



国際交流推進室 室員紹介 (教員)

室長: 小林 俊一(機械・ロボット学科)
副室長: 朱 春紅(先進繊維・感性工学科)
室員: 金 翼水(機能・ロボット学科)・金 晃屋(先進繊維・感性工学科)・金井 博幸(先進繊維・感性工学科)・施 建(機械・ロボット学科)・平田 雄一(化学・材料学科)・高島 誠司(応用生物科学科)・リ ジハ(繊維科学研究所)・ウラ アジーム(繊維科学研究所)・パレラ ジャスティン(グローバル化推進センター)

本ニュースへのご意見、ご要望などありましたら、国際交流推進室メールアドレス

(fkokusai@shinshu-u.ac.jp)へお寄せください。

◆国際交流推進室ホームページ◆

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/exchange/>